



**森林・林業政策こそ、  
重点的に取り組むべき**

木南 和也（久比岐野）



問／森林・林業政策について、持続可能な森林経営を行うために、人材育成・担い手の確保を重点的に講じるべきであると考えますか。

答／林業の担い手の確保・育成について、市としても重要であると認識している。国の「緑の雇用事業」や県の「新潟フォレスト・ワーク支援事業」等があるが、市としても必要に応じて、支援の強化を検討していきたい。

問／木材供給のサプライチェーンを整備するべきと考えますか。

答／「上越地域県材需要協議会」が発足し、新潟県森林・林業基本戦略における「つなぐプロジェクト」の展開により、現在、森林所有者から消費者までを繋ぐ仕組みづくりが進められている。市として、公共建築物、公共土木事業、燃料等への地元木材の利用促進を図り、木材の地域内循環を促進し、木材需要の創出に取り組んでいく。

問／カーボンニュートラルの取り組みとして、バイオマスボイラー等の普及を進めるべきであると考えますか。

答／令和4年2月に「第2次地球温暖化対策実行計画」を策定した。今後、木質系バイオマスの有効活用について研究を進めていく。また、公共施設への木質バイオマスボイラーの導入については、施設の機能や特性、運用コスト等を勘案して検討していく。



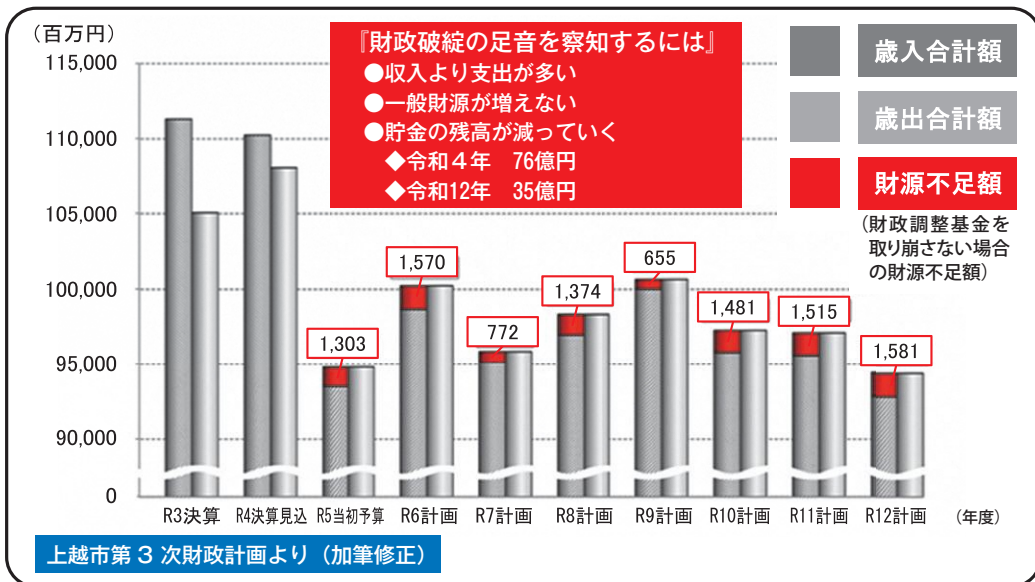
**財源不足、大丈夫か？**

江口 修一（久比岐野）



問／財源不足が8年間続くが大丈夫か。

答／貯金に当たる財政調整基金の減少額より借金に当たる市債残高が減少するので、財務体質は改善を見込んでいます。



**保倉川放水路整備計画の推進を**

大島 洋一（久比岐野）



問／関川水系河川整備基本方針の見直しの経緯や理由、検討状況、今後の見込みはどうか。放水路の拡幅等の対策が必要とあるがその内容は。

答／降雨量増大、水災害増加により、全国の水系で見直しが進められている。河川整備基本計画で具体的検討がなされると聞いている。

問／津波遡上のシミュレーション結果はどうか。対策はどの程度示されたか。対象町内周辺にも説明をすべきである。

答／L2津波が起き、放水路に津波対策をしない場合、被害が発生する。対策が具体化したわけではない。詳細が出た際、丁寧に説明したい。

問／保倉川放水路沿川まちづくり事業の内容と今後について聞きたい。

答／放水路整備による地域分断、家屋移転は沿川の不安要素で、その軽減を目指しまちづくり全体計画素案を住民と丁寧に協議し、作成したい。

**市長の人口減少対策の基本的考え**

問／従前の人口減少対策と効果、今後の対策について聞きたい。若年層の声を丁寧に聞いて、対策を充実してほしい。

答／まち・ひと・しごと創生総合戦略、第2期総合戦略で雇用機会創出などを進め、若年層の転出超過がやや緩和されるなど効果があった。令和5年度予算にきめ細かな支援の拡充に努めた。